

70 ～浄蓮寺～ ⑩の組



浄土真宗のお寺で徳善寺(豊栄町能良)より分寺した。大永5年(1525)の建立で元は今井家(11の組)下にあった。寛文4(1664)年に現在の10の組の金定に移転。享保4(1720)年にも災上。昭和31年にも落雷のため災上している。

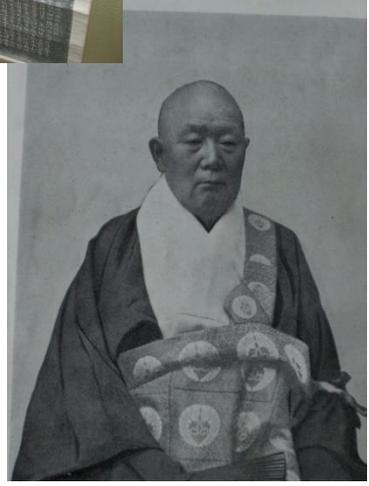
71 ～小田尊順師 記念碑～ 浄蓮寺・境内



小田の地に天保8(1836)年に生まれた。5歳で浄蓮寺に入り教順と名乗る。20歳の時京都の西本願寺に勤め仏乗とし本願寺執行長となるにあたって尊順の号を賜った。浄蓮寺に里帰りして小田区民は盛



に出迎えた。明治43年浄蓮寺に記念碑が建てられた。大阪で大正12年に没す。



72 ～慰霊碑～ 浄蓮寺・山門横



日清・日露戦争に小田から出征して戦死された112名の戦没者の慰霊碑である。昭和36年建立委員会を結成…小田区として建立し慰霊している。

大

73 ～大安慰～ 浄蓮寺・境内



小田地区で実施された圃場整備(昭和52～62年)126haの工事中に発掘され多くの「無縁仏」を集めて「大安慰」として祀ったものである。慰霊祭を行っている。

74 ～奥原観音社～ ⑩の組



岩屋にあったので岩屋観音とも呼ぶ。しかし奥原という行者がいたので奥原観音も呼ばれている。その後堤(12の組)に行く本道に観音様の辻堂を建てていたが現在は宇都さん(10の組)の西の山の頂上に移されている。

75 ～比丘尼(石斧発掘地)～ ⑩の組



昔人柱になった娘を祀ったに阿弥陀堂がここあった(…比丘尼寺)。この地を「びくに」と云う。今は古い墓しか残っていない。また比丘尼池が残っているが空池である。しかし、昭和年代に小田地区の県営圃場整備事業が実施され特定できなくなった。

76 ～発掘された石斧～ ⑩の組



神迫比久尼地区出土(2500～5000年前)火越石(左)石斧(中)柱状快入石斧(右)(石斧とは斧(おの)の刃に用いた石器)広島文化財研究家 田淵実夫氏の証明